

おけがわ

市議会だより

12月定例会

平成26('14)年3月1日発行

桶川市成人式にて



主な内容

議長、副議長の選挙結果、
一部事務組合構成、各委員会の紹介ほか

2～3ページ

条例等の議案審議、議決
結果ほか

4～7ページ

一般質問（13人）

7～13ページ

◆ 12月定例会日程 ◆

- | | |
|-------|--|
| 12月9日 | 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、決算特別委員会の委員長報告・質疑・討論及び表決、議長の選挙、副議長の選挙、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、市長提出議案の上程及び説明・質疑・討論及び表決、市長提出議案の質疑及び委員会付託 |
| 12日 | 総務常任委員会 |
| 13日 | 民生経済常任委員会 |
| 16日 | 建設文教常任委員会 |
| 17日 | 一般質問 5人（渡邊・保坂・新島・臼田・糸井議員） |
| 18日 | 一般質問 5人（高野・岩崎・仲又・加藤・江森議員） |
| 19日 | 一般質問 3人（相馬・永野・佐藤議員） |
| 25日 | 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程及び説明・質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程・質疑・討論及び表決、閉会 |

議長 副議長 大隅 町田 俊朗 氏

副議長選挙
町田俊朗 11票
島村美貴子 3票
永野朋子 2票
(無効投票2票)

改選後の会派は次のとおりです。

(太字は代表)

を選出

12月定例会初日の12月

9日に、市川幸三議長及び臼田喜之副議長が辞職されたことに伴い、議長及び副議長の選挙が行われました。

投票の結果、議長に大隅俊和議員、副議長に町田俊朗議員が当選しました。

選挙の結果は、次のとおりです。

議長選挙
大隅俊和 11票
高野和孝 2票
関根武 2票
(無効投票3票)

また、各常任委員会、議会だより編集委員会の各委員の選任、桶川北本水道企業団議会、上尾・桶川・伊奈衛生組合議会、埼玉県央広域事務組合議会の各議員選挙が行われ、次のとおり決定しました。

一部事務組合議会議員の構成		
上尾・桶川・伊奈衛生組合議会	桶川北本水道企業団議会	埼玉県央広域事務組合議会
樹人美武子	喜和美光	志雄一子
政正清光	田藤野村島	正輝誠朋
井馬又根邊渡	臼佐高島新	藤坂森野
糸相仲関渡	加保江永	加保江永



副議長 町田俊朗



議長 大隅俊和

就任のごあいさつ

身全靈を傾けて参りたいと存じます。

さて、昨年の政治情勢

市民の皆様には、日ごろより市政並びに市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちには、昨年12月議会において、議員各位からのご推举をいただき、議長、副議長という重責を担うこととなりました。

一方、平成26年4月からの消費税増税による個人消費の停滞による景気微力ながら円滑な議会運営と市政発展のため全

も、社会情勢の変化を的確に判断するとともに、

市政のさまざまな課題に對し、市民の声をまず第

一と考へ、活気あふれた魅力あるまちづくりを目指し、全力を傾注してまいる所存でございます。

今後とも、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申します。

（会派は、届出順）

《日本共産党》

高野和孝 永野朋子

《けやきクラブ》

関根武 島村美貴子

《無会派》

渡邊光子 新島光明

《公明党》
市川幸三 大隅俊和
臼田喜之 加藤正志
糸井政樹 相馬正人

《新風クラブ》 21

佐藤洋 町田俊朗
江森誠一

各委員会の委員が 決まりました



総務常任委員会

後列左から
加藤 正志 永野 朋子 渡邊 光子
前列左から
町田 俊朗 ◎糸井 政樹 ○保坂 輝雄

12月定例会において、総務常任委員会、民生
経済常任委員会、建設文教常任委員会、議会運
営委員会、議会だより編集委員会の各委員が選
任されましたので、紹介します。
任期は、平成27年12月までの2年間です。

◎委員長 ○副委員長



建設文教常任委員会

後列左から
臼田 喜之 大隅 俊和 関根 武
前列左から
○江森 誠一 ◎仲又 清美 高野 和孝



民生経済常任委員会

後列左から
市川 幸三 島村 美貴子 佐藤 洋
前列左から
岩崎 隆志 ◎相馬 正人 ○新島 光明



議会だより編集委員会

後列左から
永野 朋子 新島 光明 佐藤 洋 相馬 正人
前列左から
島村 美貴子 ○岩崎 隆志 ◎加藤 正志 大隅 俊和



議会運営委員会

後列左から
関根 武 永野 朋子 臼田 喜之
前列左から
仲又 清美 ◎佐藤 洋 ○加藤 正志

条例等の議案審議

桶川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に

平成25年12月定例会は、12月9日から12月25日まで開催されました。

今定例会では市長提出議案24件が上程され審議されました。

関する条例の一部を改正

が一定額を限度に撤夫用を援助する形かと思
ます。ただし、もし仮所有者がその支援を要
しなかつた場合については、なかなか解決は難
いと認識しています。

から、公園施設と体育施設とで料金体系が違ひ、分かりづらいという指摘もあり、体育施設である新小針領家グラウンドの使用料を基準に、城山公園の多目的広場の使用料

桶川市都市公園条例の一部を改正する条例

問

桶川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、消防団員の安定した人員の確保を図るため、消防団員となれる者の範囲を拡大しようとするものです。具体的な改正内容は、その資格として、従来の「桶川市に居住する者」から、「桶川市内に勤務する者」も、消防団員になれるようになります。

が、婚姻等により市外に転出し、本人としては消防団を続けてもよいといふ意思があつたものの、退団しなくてはならなかつたというご意見をいたしました事実があります。

桶川市環境美化に関する条例

の会議にでもお話をさせていただき、ご意見を伺いたいと思います。

も環境的にも良くないな
どのご指摘を受けた場合
は、環境課としましては

城山公園の多目的広場（
ラウンド） 使用料を新
針領家グラウンドなど

答 現行の一部使用について、通常半分の使用ですので、全

面使用が500円であれば250円になりますが、切り上げて300円でした。今回からは、半面については半額という形で分かりやすくさせていただきます。

答 用料との関係は、面積が1万200m²になると、たなこととてなこととなる。

らは、半面については半額という形で分かりやすくさせていただきます。

として、従来の一桶川中に
に居住する者から、今後は、
「桶川市内に勤務

答問
を登用する考えは
課題がいくつか

きちんと定めないと、財産だと主張されたときじ

いに参考にしようとした
いのか。

問 す。
そもそもこの改
正に至つた理由、

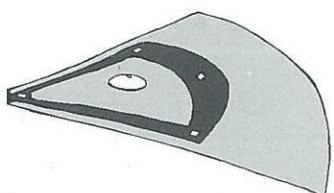
ありますて、定数の問題や分団の受け入れ体制の問題もありますので、例えば本部の定数を

答 対処できないのでは。
その問題は現在
最大の課題と言わ
れております。

市内に住んでいて、かつ市内に勤務していたことがあります。消防団には次

その方にとって財産と
いう認識であっても、固

条例の中で支援という項目があり、所有者の方が支援を要求した場合、区



12月定例會議決結果

議案番号	案 件	結果
第52号議案	平成24年度桶川市一般会計歳入歳出決算の認定について	○
第53号議案	平成24年度桶川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○
第54号議案	平成24年度桶川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○
第55号議案	平成24年度桶川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○
第56号議案	平成24年度桶川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○
第67号議案	平成25年度桶川市一般会計補正予算(第5回)	○
第68号議案	桶川市部設置条例の一部を改正する条例	○
第69号議案	桶川市高齢者等借上型市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	○
第70号議案	桶川市都市公園条例の一部を改正する条例	○
第71号議案	桶川市下水道使用料条例の一部を改正する条例	○
第72号議案	桶川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	○
第73号議案	桶川市地域の元気臨時交付金基金条例	○
第74号議案	桶川市環境美化に関する条例	○
第75号議案	指定管理者の指定について(桶川駅西口地下自転車駐車場ほか2自転車駐車場)	○
第76号議案	指定管理者の指定について(桶川サン・アリーナほか3体育施設)	○
第77号議案	指定管理者の指定について(桶川市民ホール)	○
第78号議案	指定管理者の指定について(桶川市べに花ふるさと館)	○
第79号議案	指定管理者の指定について(桶川市老人福祉センター)	○
第80号議案	指定管理者の指定について(桶川市農業センター)	○
第81号議案	指定管理者の指定について(桶川市勤労青少年ホーム)	○
第82号議案	指定管理者の指定について(桶川市勤労福祉会館)	○
第83号議案	指定管理者の指定について(鴨川公園ほか23桶川市都市公園)	○
第84号議案	市道の路線の認定について	○
第85号議案	市道の路線の廃止について	○
第86号議案	損害賠償の額を定め、和解することについて	○
第87号議案	平成25年度桶川市一般会計補正予算(第6回)	○
第88号議案	教育委員会委員の任命について(湯浅 哲郎氏)	●
第89号議案	監査委員の選任について(市川 幸三議員)	●
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(佐藤 啓一氏)	□
委第6号議案	桶川市歯科口腔保健の推進に関する条例	○
議第7号議案	消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書	○

注：◎原案可決 ○認定 □承認 ●同意

これは、坂田保育所の耐震補強工事を実施するための経費を新たに計上するものです。

補正予算

本事業は、桶川市商工会の主催する桶川市内共通プレミアム商品券発行事業を支援するものです。具体的には、額面500円券23枚綴りで、販売額は1冊1万円です。商品券23枚のうち、13枚が大規模

がありますので、工事後に内外装を復旧する工事なども含まれています。

指定管理者の指定について

案のとおり可決しました
各施設ごとの指定管理者
は次のとおりです。なお
新たな指定期間は、平成
26年4月1日から平成31
年3月31日までです。

- 桶川サン・アリーナほか3体育施設
- 桶川市民ホール
- 桶川市施設管理公社
- ルバ一人材センター
- 公益社団法人桶川市み

- 桶川市べに花あるさと
館
- 公益財団法人けやき文
化財団
- 桶川市老人福祉センター
1
- 桶川市農業センター
会福祉協議会
- 社会福祉法人桶川市社

建物の基礎と柱の接合部
分を補強する工事、建物
の部材が交差する箇所を
補強する工事などを予定
しています。

また、建物の内部構造
を補強することから、建
物の内装や外装を一部取
り外して工事をする必要

市民参画で市役所庁舎建設は市民の声を生かし

高野
和孝

問

のガス抜きではないか。
市民が主役にふさわしい
ように取り組んでほしい。

会を11回開催し延べ279名が受講。健康長寿サポートは自らがん検診を受

問 圏央道の遮音壁
で聴こえないこと
への対処は。

で、その後の計画となる
かと思います。

防災行政無線について

岩崎
隆志

防災行政無線

北本市は公募による市民、関係団体の代表、学識経験者、市職員からなる40人の委員で構成された検討委員会を設置したが、桶川も「市民が主役」にふさわしく市民参画で実施を。議会を初め、市民、各種団体等の意見を伺う懇談会等を開催したいと考えています。仮庁舎の建設は建設費と解体費で3億円かかるが他に方法がないか検討を。

限られた敷地で既存庁舎を使いながらの建設で工事期間中の来庁者の安全や駐車場の確保、工期の短縮、首都直下型地震の切迫性もあり、来庁者や職員の安全確保の必要性からも低コスト化を十分考えて、仮庁舎は必要と考えます。懇談会の開催では単なる形式だけ

<p>答</p> <p>長野県の活動は、十分認識しております。</p>	<p>がん予防のための生活習慣見直しとがん検診</p> <p>問</p> <p>長野県は男女とも長寿日本一で、その要因はがん死亡率が低いためだ。生活に根づいた予防運動では生活改善を支えているのが保健師の活動を補助する保健補導員で、長野県全体では20万人が経験者だ。</p>	<p>答</p> <p>市民が主役にふさわしいように取り組んでほしい。参考に手法を検討します。仮庁舎については低コスト化にこだわって建設し、再検討は考えません。</p>
-------------------------------------	--	--

会を11回開催し延べ279名が受講。健康長寿サポーターは自らがん検診を受け家族や友人に勧めます。

高齢者世帯に対する訪問と見守り活動

問 高齢者の見守り活動はどのように行なっているか。

答 訪問は民生委員や地域包括支援センター職員と市職員が行ない、他に地域活動として地区社協の友愛訪問や老人会の訪問活動です。

問 見守りを希望している世帯はどの位か。本人の希望がなくとも訪問してほしい。

答 平成23年度調査では、13%が希望しており、将来的にはもつと増えると思われます。

今後、民生委員からの情報や市の判断で訪問も行ないます。

問　　圈央道の遮音壁で聴こえないことへの対処は。

答　　昨年5月16日より、ネクスコ東日本や大宮国道事務所と協議を行い、防災行政無線の増設等の要望を行ったところです。

問　　相手の対応は。

答　　以前、川島町でも同じような要望を行いましたが、やつていただけなかつたという状況です。

問　　今回は東日本大震災後と言うこともあり、国のはうでも防災に対する考え方方が変化していますので、桶川市の要望については、聞いていただけるのでないかと考えています。

問　　それはいつごろになるか。

答　　桶川市の圏央道が平成27年3月に全体の完成となります

で、その後の計画となる
かと思います。

問 1日のうち昼の
サイレンだけが聞
こえないことへの対処は
電波障害による

答 ものでしたが、現
在は回復しています。

問 夕方4時の放送
が途中で途切れる
ことへの対処は。

答 声の反響を防ぐ
ための対応による
障害でしたが、現在は回
復しています。

問 消防団特別点検
のサイレンと、そ
れを意味する放送の間が
空き過ぎて、違和感を感
じることへの対処は。

答 前もって放送し
その後にサイレン
を鳴らす等の対処をいた
します。

がん検診受診率50%達成に向けての取り組みについて

仲又 清美

平成22年度の本市の検診受診率は、

受診勧奨します。

市町村中、胃がん46位、肺がん57位、大腸がん16位、子宮がん54位、乳がん41位で、大腸がん以外は、40位以下という残念な結果だ。がん検診受診率向上に向けての対策、「コール・リコール」の導入について伺う。

答 市は、乳がん検

診と子宮がん検診の受診率の向上のため、今年度から3年間の計画で、「コール・リコール」を実施します。1年目は、

3500人の未受診者にアンケート調査でがん検診を受けなかった理由を把握し、検診体制等を検討します。

がん検診受診率50%達成に向けての取り組みについて

仲又 清美

平成22年度の本市の検診受診率は、

受診勧奨します。

市民が積極的にがん検診を受けやすくするため、現在の申込み方法は、他市と比べ問題はないか伺う。

答 県内で、がん検

診受診率の高い自治体は、郵送と窓口以外にメールでの申し込みを受け付けており、当市もメールでの申し込みを検討します。

答 市は、有資格者を把握していませ

んが、保育士の人材確保は、新制度に移行した時

には、重要な課題です。

保育ママ制度についても、十分研究、検討しま

す。

答 市は、有資格者を把握していませ

んが、保育士の人材確保は、新制度に移行した時

には、重要な課題です。

保育ママ制度についても、十分研究、検討しま

す。

答 市は、有資格者を把握していませ

んが、保育士の人材確保は、新制度に移行した時

には、重要な課題です。

答 市は、有資格者を把握していませ

んが、保育士の人材確保は、新制度に移行した時

には、重要な課題です。

保育に欠ける要素が緩和され、現在よりも保育需要の増加が予定されます。今後、市としても検討しなければならない課題です。

在よりも保育需要の増加が予定されます。今後、市としても検討しなければならない課題です。

「地域パートナーシップ」の確立について

加藤 ただし

各自治会が抱えている問題や改善

件が緩和され、現

点、将来的なイメージも違があり、市役所と地域（自治会）が一体となり事業を進めるため、市役所と市民とのパイプ役となる「地域パートナーシップ」の確立が必要と考えるが。

答 自治文化課を中心

に応じていますが、現状の情報提供や相談等の応援機能は決して十分ではありません。

このため地域で持つ個々の課題解決に向け、区長とのコミュニケーションを図り、地域との連携、いわゆるパートナーシップを強化できる組織機能の確立と、地域の活性化のためパートナーシップがより強固なものになるよう努力します。

答 現在具体的な計

画を策定する段階に至っていますが、今

後は、緑化重点地区を中

心に新たな公園の創出に

重点を置き、将来的な緑

道、歩道及びポケットパー

クなどのネットワーク構想が図れるよう検討します。

答 緑道、歩道及び

公園の面積が少ない東口

には必要と感じるので、

実現を前提に検討して頂

きたい。

して有効利用を提案する。残されている希望的構想の実現に向けて検討します。

少なオーブンスペ

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

「地域パートナーシップ」

により、協働の事業も視

野に入れ、暗渠となつて

いる部分の有効利用とし

てコミュニティの場をつ

くり、子供たちも楽しく

学校に通える通学路や季

節の花などが楽しめる遊

歩道を地域と一緒に検討して頂きたい。

答 遊歩道の整備は、

地域の方々と話し合

い、今後皆様に長く愛

される遊歩道にしていく

ため、地域とのパートナ

ーシップを取り入れて整

備をしていきます。

遊歩道の整備について

ワーク構想の実現に向けて検討します。

桶川東地域整備方針に水辺の緑道は、地元の方々のコミュニティの場としての遊歩道整備を進めていきます。

答 遊歩道整備に積

ることから、提案した

社会資本整備事業について

江森 誠一

ジユールについて詳しく伺う。

問

道路、橋梁、河川、公園など現状についてどうなっているのか伺う。

答 本市におきましても、インフラの老朽化が進み、高度経済成長期に整備された社会資本ストックが今後更新時期を迎えていくことから、適切な維持管理、更新を行なっていくことが求められています。道路に關しては、平成26年度に路面性状調査を予定しております。市道の幹線道路を中心には延長30kmを調査対象に、舗装のひび割れ、わだち掘れ、段差を調査し路面の現状把握を行ないます。橋梁については、本市管理の橋梁57橋のうち、橋長15m以上及び重要性が高い橋梁の計21橋について、平成24年度、25年度において既に点検を行ない調査結果に基づき、長寿命化修繕計画を

作成するため、今年度業務委託を実施しています。

河川については、樋管及び雨水調整池内に設けられているポンプ施設が河川構造物に該当します。

主要なポンプ施設のある後谷調整池、舍人調整池について、今年度劣化診断委託を行い、調査結果に基づき現在計画策定作業を実施しています。公園については、市内24カ所の都市公園があり、古いものでは30年を経過しております。また、現在市内の都

市公園の全てを対象とした公園施設長寿命化計画策定業務委託を実施しているところです。



仮設庁舎建設予定地

問 新庁舎建設事業について
いて

答 今議会で補正予算、債務負担行為の議決をいただきましたので、仮設庁舎建設の発注手続を進め、平成26年4月にリース業者と契約し、2ヵ月程度の建築確認行為を経て、6月ごろから工事完成を12月上旬と想定しており、12月27日から年末5日間及び平成27年1月4日までの年

始4日間計9日間を利用して引越しを完了し、平成27年1月5日から仮設庁舎での新業務を開始したいと考えているところです。

相馬 正人

特徴のあるまちづくりについて

問

昔、桶川市においても定期的に秋に花火を行っていたという話を耳にした。何かを

新しくつくるのではなく、昔からあるものを生かしたり、復活させたまちづくりについてどう考えておられるか。

答 川田谷原地区で

江戸時代から昭和12年まで花火大会が行われていたという記録が残っています。2年後は市民制施行45周年、また市民まつりも40回、べに花まつりが20回という、お祭り等の節目の年かなとうふうに思います。そん

な学校でのエアコンの稼働に当たりましては、児童生徒の健康面や節電等、コスト軽減を図るため、学校施設の衛生基準等も考慮しながら使用時間や設定温度等、統一的運用方針として使用基準、いわゆるマニュアルを定めて効果的な活用を図っていくことをとしており、現在先進地の状況も把握しながら内容について検討していきます。

コントローラーの稼働に当たりましては、児童生徒の健康面や節電等、コスト軽減を図るため、学校施設の衛生基準等も考慮しながら使用時間や設定温度等、統一的運用方針として使用基準、いわゆるマニュアルを定めて効果的な活用を図っていくことをとしており、現在先進地の状況も把握しながら内容について検討していきます。

効率的に活用するため冬季の暖房が必要な際には、エアコンを使用することとしております。したがいまして、現在設置しております石油ストーブによる暖房機器は廃止します。

授業日数が増える場合の給食の提供や給食費についてはどうようにお考えか。

江戸時代から昭和12年まで花火大会が行われていたという記録が残っています。2年後は市民制施行45周年、また市民まつりも40回、べに花まつりが20回という、お祭り等の節目の年かなとうふうに思います。そん

な年を契機に、また市内の若い人たちが中心となって、花火大会等、何かのイベントを開催しよう

といふふうに思います。そんなふうに思いますが、桶川市としても全面的にまた協力をしていくたいなどいうふうに考えています。

問

昔、桶川市においても定期的に秋に花火を行っていたとい

ることを予定しております。

これにより5日間の授業日数が確保され、20時間程度の授業時数の増加が見込まれます。

冬の暖房器具としての利用はどのように考えているのか。

江戸時代から昭和12年まで花火大会が行われていたという記録が残っています。2年後は市民制施行45周年、また市民まつりも40回、べに花まつりが20回という、お祭り等の節目の年かなとうふうに思います。そん

な年を契機に、また市内の若い人たちが中心とな

うふうに思います。そんなふうに思いますが、桶川市としても全面的にまた協力をしていくたいなどいうふうに考えています。

問

子宮頸がんワクチンによる副反応被害者対策

永野 朋子

問 被害状況について、県からの照会と市の回答は。

答 8月に照会がありましたが、健康新たにため回答していません。

県下では12例で、うち1名が桶川と聞いているが。

莫大な税金での国家事業だが、市は国に先駆けて実施するため全校で説明会を開催した。生徒が見たDVDは、ワクチン製造会社グラクソのもので、内容はリスクよりも効果が絶大という内容だ。説明は十分だったか。なぜ被害状況は市教委と所管課に共有されないのであるのか。

答 調査は文科省から欠席等の状況調査で、県に報告したものです。接種部のはれがあり腕が上がらなくなつた軽度なものです。副反応については医療機関か

ら市の所管課に報告が上がりつてくる仕組みになつております。県内では11件が正式な状況です。リスクの説明は国の資料に基づき、できる限り詳しく説明しました。医師の説明を受けて、同意の上受けようお願いしています。

答 エリア、事業規模と採算性などは検討中です。国道事務所に協議書を提出し、同月25日付で回答を得ています。

市民の期待は大きいが心配する声もある。3年計画で20億円も予算要求しているが。古河市が19億円と聞いており、最大で出しています。

答 営管理料0円のところが4割、かたや3,000万円以上出して公共的な施設を併設しているところもあるが。

全国的には、運営費用は接種者数は延べ3371人、県補助金を除く市負担額は約3,100万円ですが、接種中断者数は集計できません。せんご了承を。

接種者総数と費用総額は。接種を途中でやめてしまった方は無駄になつたのでは。

答 小中学校の3年前と現在の電気料金の比較ですが、22年度と25年度のそれぞれ上半期の6ヶ月間のトータルで比較ということでお答えをします。まず、小学校7校全体ですが、22年度の電気料が約1,000万円、使用電力量が約50万キロワット、25年度の電気料が約1,200万円、使用電力量が約43万キロワット、中学校4校全体ですが、22年度が800万円で40万キロワット、25年度が900万円で35万キロワットとなりました。学校全体の状況といたしまして使正在する量は17%の減、料金では16%程度の増額となっています。また、サン・アリーナの状況です。

答 現在、川田谷小給食室には太陽光発電装置を設置し、費用軽減等の対策をしていました。また、小中学校でのエアコン設置では、電気料金の軽減が図れる深夜電力を利用した方式を導入しています。

道の駅の進捗と見通し

進捗状況は。
11月19日に大宮

公共施設(教育関係)	22年度(上半期)		25年度(上半期)	
小学校(7)	50万kw	1,000万円	43万kw	1,200万円
中学校(4)	40万kw	800万円	35万kw	900万円
サン・アリーナ	38万kw	660万円	28万kw	660万円

平成22年度の小中学校消費電力は90万kw 電気料1800万円

平成25年度は78万kw(22年度比で17%減) 電気料2100万円(22年度比で16%増)

公共施設(教育関係)の電気料について

佐藤 洋

問 公共施設の電気料といふことで、現在の料金と3年前の料金との差及び今後の見通しは。

たとえぞれ上半期6ヶ月の比較で申し上げますと、22年度の電気料が約660万円、使用電力量が約38万キロワットとなつております。今後桶川市も各施設、増加も予想されておりますので、東電の割引率とも比較検討して、個々の施設ごとに具体的に検討して、やっぱりこれは積極的に取り入れられるところは取り入れていきたいというふうに考えております。

が、先ほど申し上げましたとおり、企業向けの需要では、まさに議員おつしやるとおり新電力の販売量は増えているという状況です。今後桶川市も各施設、増加も予想されておりますので、東電の割引率とも比較検討して、個々の施設ごとに具体的に検討して、やつぱりこれは積極的に取り入れられるところは取り入れたいというふうに考えております。

入し、電気料金の軽減を図ることを予定しています。電力の需要そのものが減少しているという状況にあって、企業向けの需要では、まさに議員おつしやるとおり新電力の販売量は増えているという状況です。今後桶川市も各施設、増加も予想されておりますので、東電の割引率とも比較検討して、個々の施設ごとに具体的に検討して、やつぱりこれは積極的に取り入れられるところは取り入れたいというふうに考えております。

提出議案

委員会や議員が提出した
議案の一部をご紹介しま
す。

桶川市歯科口腔保健の 推進に関する条例

歯科疾患の予防等による歯及び口腔の健康の保持の推進のため、民生経済常任委員会の委員会提案により上程され、原案どおり可決されました。

なお、施行は公布の日（12月27日）からとなります。

消費税の軽減税率制度 の導入を求める意見書

崩しい財政状況の下、社会にあって、社会保障の費用を安定的に確保しながら「社会保障と税の一体改革」関連8法案が昨年8月に成立した。

の政策責任者会議において、来年度税制改正大綱では軽減税率を「消費税率10%時に導入する」とし、た上で、軽減税率の詳細な制度設計を与党や財務省で検討していくことが確認された。よって、政府においては、下記の事項について、速やかに実施することを強く求める。



内閣総理大臣
財務大臣 総務大臣

12月議会傍聴者数

月日	男	女	計
12/9	8	2	10
12/12	0	0	0
12/13	0	0	0
12/16	0	0	0
12/17	8	3	11
12/18	6	7	13
12/19	7	3	10
12/25	5	4	9
合計	34	19	53

声の市議会だよりのご利用を

桶川市議会では、「声の市議会だより」をボランティアの協力により作成しています。

利用を希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

お知らせ

3月定例会は、2月20日から開催される予定です。議会を傍聴しましょう。

会議録はインターネットで公開しています。

桶川市議会では、議会の内容や議員の紹介をはじめ、『会議録検索システム』により定例会・臨時会・議案や請願審査を行った委員会の会議録を公開しています。また、検索システムからは『議会日程』や『一般質問』など、順次公開しています。ぜひご覧ください。

榆索

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

編集後記

この度、議会では大隅議長、町田副議長をはじめ各委員会の役員人事が改選され、新しい体制でスタートいたしました。桶川市発展のため、新市庁舎をはじめ多くの課題に対し、皆様に納得される形で結果を出せるよう果敢に挑戦してまいります。

4月には、小野市長の約束がありました、こども医療費等の窓口払いが廃止になり、夏には小中学校の普通教室へのエアコンの設置がなされます。これは多くの市民の希望でありました。「希望は未来を開く」といわれています。乞うご期待です。

(岩崎)